

令和5年度 富士見市



小中一貫教育の取組

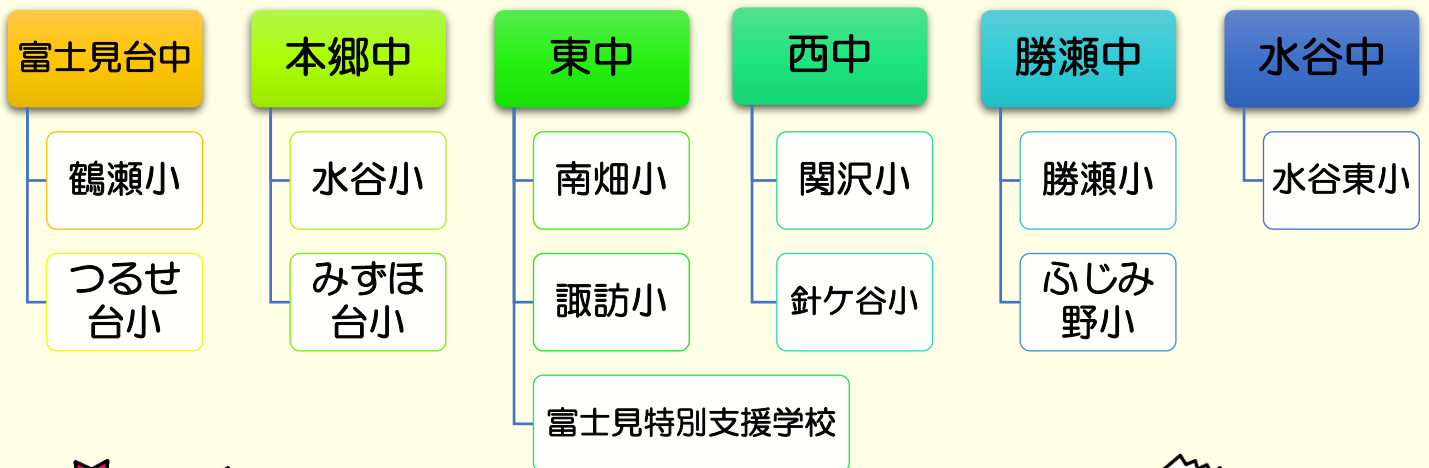
○富士見市が目指す小中一貫教育とは・・・

- ・6つの中学校区を単位として、既存の校舎を活用した施設分離型で取組を推進します
- ・義務教育9年間を見通した系統性・継続性のある教育を行います
- ・小中学校教員間が細やかに連携することで、中学校進学時の不安を解消し、不登校児童・生徒の減少を目指します



『学び合い 人がつながり
一人ひとりが輝く 富士見の教育』の実現

【富士見市の中学校区】



— 富士見市教育委員会 —



★富士見台中学校区★

[令和5年度までの取組]

富士見台中学校区では、合唱交流会やあいさつ運動など児童生徒の交流を行うとともに、令和4年度に取り組んだ小・中学校の「話すこと・聞くこと」のカリキュラムを元に、令和5年度より新しく採択された小学校の教科書に沿うよう、国語の単元を具体的に明記したカリキュラムにバージョンアップさせました。国語だけでなく、特別活動の話し合いの時間や総合的な学習の時間において、小学校や中学校の先生方が、何年生までにどんな力を身に付けておけば、次の学年で自信をもって子どもたちが学習に取り組めるのかを考える良い指標となりました。



中学生と一緒にあいさつ運動を行いました。
元気なあいさつが響きます

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、今年度の「話すこと・聞くこと」のカリキュラムのバージョンアップの取組を受けて、特別活動や道徳の時間に、児童生徒が実践的に使っていくことができるような内容を検討しています。



迫力ある中学生の歌声は、小学生にとって良いお手本になります

★本郷中学校区★

[令和5年度までの取組]

本郷中学校区では、小学校における外国語のカリキュラムを作成し、中学校教員が小学校に向いて授業を行う取組を行ってきました。小学校から段階的に中学校英語に慣れていくことで、少しずつですが英語力の向上がみられるようになってきました。

また、小学校6年生に向けた新入生の説明会では、本郷中生徒会役員が中学校の生活を説明したり、部活動見学の案内を中学生が行ったりすることで、中学校進学に対する児童の不安感を減らすような取組も行ってきました。

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、教員間で生徒指導や教育相談に関する情報共有をこれまで以上に密に行い、児童生徒の実態把握や小中間での目標設定を行っていきます。

また、コロナ禍で減少傾向だった児童生徒間の交流・取組も今後増やして行くことを検討していきます。

★東中学校区★

[令和5年度までの取組]

東中学校区では、生徒が直接南畑小を訪れ、吹奏楽や合唱などの音楽の交流会や、低学年へ向けた絵本の読み聞かせを行いました。また、諏訪小へ東中の体育の先生が出前授業を行い、小学校から中学校へ進学するにあたり、集団行動の基本的な動きを学ぶ機会を設けるなど、積極的に交流を図ることができました。

また、昨年度作成したICTのカリキュラムをベースに、基礎スキルを具体的な数値目標なども加え、児童生徒がプログラミング学習やSTEM教育に意欲的に取り組むことができるようカリキュラムの見直しを行いました。

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、国語や算数などの学びの中心となる教科の連携や、体育・音楽などを通して生徒指導面での連携を図るとともに、今年度行ってきた取組をさらに充実できる取組を検討していきます。



中学生がサンタクロースになって、クリスマスの本の読み聞かせをしてくれました



中学生の先生が体育を教えてくださいます。キビキビとした動きが、かっこいいですね



中学生が通学路であいさつの声掛けをしてくれます。



中学生のきれいなハーモニー、発声の仕方を間近で聞くことで、意欲向上につながります。

★西中学校区★

[令和5年度までの取組]

西中学校区では、これまでも長年行ってきた合唱や陸上大会の練習などの児童生徒の交流をベースに、本年度は特に体育を中心に、小学校で学んだことが中学校につながることを意識できるようなカリキュラムの見直しを行いました。小学校での長縄8の字飛びを2・3月に重点として取り組むことで、中学校の体育祭で行う長縄集団飛びにつながるなど、関沢小と針ヶ谷小の2校が足並みをそろえることで、中学校での体育や行事・部活動に意欲的に取り組むことができるよう工夫した内容となっています。

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、西中学校区3校で包括的セクシュアリティ教育について、研究を行っていきます。自分自身や他者の心や体を大切に、自尊感情を育てていくために、どの学年でどのような内容を教えていく必要があるのかを3校で検討し、市内のモデル校としてカリキュラムを検討していきます。

★勝瀬中学校区★

[令和5年度までの取組]

勝瀬中学校区では、令和4年度より3年間をかけて小中一貫教育推進の研究を進め、あいさつ運動や合唱交流会、部活動体験などを通じた児童生徒間交流や、小中の先生が7つの研究部（体育・特別活動・生徒指導・教育相談・特別支援教育・ICT活用・学校保健）に別れて、教科・領域における課題や実践の共有のための情報交換会、全体研修会を定期的に行ってきました。部会として話し合うテーマを絞ることで、児童生・徒の実態把握や段階的な指導の方向性が明確になってきました。



中学生と一緒に陸上大会の練習を行いました

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、本年度の部会での話し合った結果をもとに教科・領域における系統的な指導計画の立案・試行を行っていくとともに、令和6年度指導計画に沿った実践・工夫改善を図っていきます。



部会ごとに分かれて、先生方の活発な意見が飛び交います



★水谷中学校区★

[令和5年度までの取組]

水谷中学校区では、学校が隣り合っているという地の利を生かし、小学校の音楽朝会に中学生が参加し、合唱曲を披露したり、中学校の卒業式練習を小学校6年生が見学しに行ったりするなど、実際に顔を合わせた交流や取組を行ってきました。

また、昨年度作成したICTリテラシーカリキュラムを使って、小学校から段階的に積み重ねてきたICTの学びを、実際の授業の中に取り入れています。中学校では修学旅行の行動スケジュールを作るなど、一人1台端末を積極的に活用できるようになりました。

[令和6年度に向けて]

令和6年度は、安全教育の一環として防災訓練や引き渡し訓練の合同での実施や部活動ごとの中学校から小学生への運動指導、あいさつ運動など、児童生徒の交流がさらに活発になるような取組を検討していきます。



水谷東小の音楽朝会に中学生が参加し、美しい歌声を披露してくれました



小学校からICTの学びを積み重ね、修学旅行先を使ってより良いスケジュールを作ります